

**CFO 12575 USA****(REFERENCE 2)****PATENT ABSTRACTS OF JAPAN**

(11)Publication number : 07-191968  
 (43)Date of publication of application : 28.07.1995

(51)Int.CI. G06F 17/21

(21)Application number : 05-330618

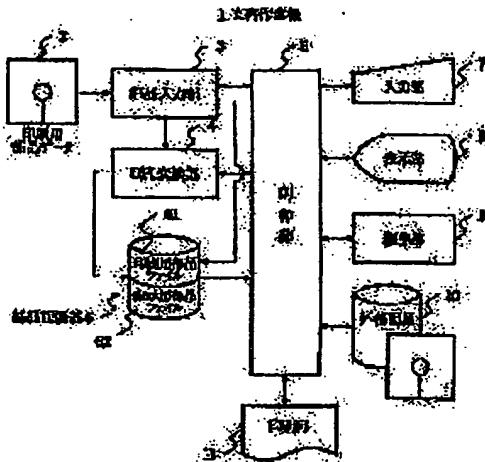
(71)Applicant : NEC CORP  
 NIIGATA NIPPON DENKI SOFTWARE KK  
 (72)Inventor : ISHIZAWA KIYOSHI  
 IDA HIROYUKI

(22)Date of filing : 27.12.1993

**(54) DEVICE FOR PREPARING DOCUMENT****(57)Abstract:**

**PURPOSE:** To perform edition and printing by storing word data to be frequently used, graphic, logo mark in a storage device as parts for printing and parts for display while easily and speedily confirming the style of the page.

**CONSTITUTION:** Data 2 for printing to be frequently used is stored in a file 61 as parts for printing in a storage part 6 from a parts input part 3. At the same time, a DPI conversion part 4 converts the dot density smaller for the display and stores it in a file 62 as parts for display. Each parts for display and printing has information on the name of the storage file, size and attribute in management files. At the time of proofreading the document, the parts for display are used in edition and the parts for printing are used in printing. Thus, the quick display and printing can be performed.

**LEGAL STATUS**

- [Date of request for examination] 31.01.1996
- [Date of sending the examiner's decision of rejection] 23.02.1999
- [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
- [Date of final disposal for application]
- [Patent number]
- [Date of registration]
- [Number of appeal against examiner's decision of rejection]
- [Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
- [Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-191968

(43)公開日 平成7年(1995)7月28日

(51)Int.Cl.<sup>9</sup>  
G 0 6 F 17/21

識別記号 序内整理事号

9288-5L

P I

G 0 6 F 15/ 20

技術表示箇所

5 6 6 H

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全4頁)

(21)出願番号 特願平5-330618

(22)出願日 平成5年(1993)12月27日

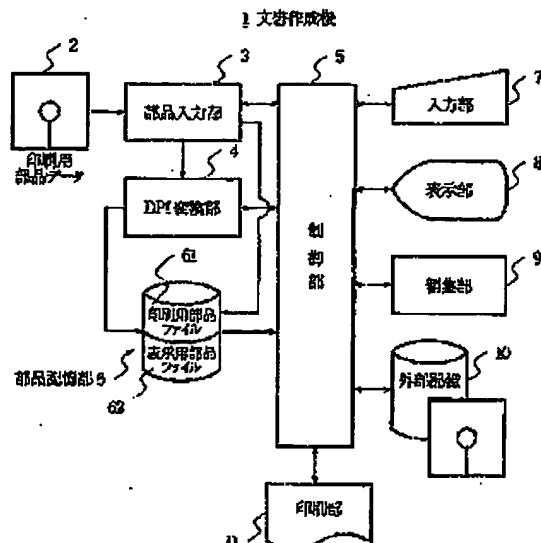
(71)出願人 000004237  
日本電気株式会社  
京都市港区芝五丁目7番1号  
(71)出願人 390003045  
新潟日本電気ソフトウェア株式会社  
新潟県新潟市万代4丁目4番27号  
(72)発明者 石沢 邦  
東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株  
式会社内  
(72)発明者 井田 博之  
新潟県新潟市万代4丁目4番27号 新潟日  
本電気ソフトウェア株式会社内  
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 文書作成機

(57)【要約】

【目的】頻繁に用いる字句データ、図形、ロゴマークを印刷用部品、表示用部品として記憶装置に格納し、頁の体裁を容易、かつ、迅速に確認しながら編集および印刷が行えるようとする。

【構成】頻繁に利用される印刷用部品データ2を、部品入力部3から記憶部6に印刷用部品としてファイル6-1に格納する。同時にDPI変換部4によりディスプレイ表示用にドット密度を小さく変換し、表示用部品としてファイル6-2に格納する。表示用、印刷用の各部品は格納ファイル名、サイズ、属性などの情報を管理ファイル2-1、2-2に持つ。文書校正時は表示用部品を、印刷時は印刷用部品を使用して、編集することにより迅速な表示、印刷が行える。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 字句データあるいは图形またはロゴマークを印刷用部品として印刷用部品ファイルに格納する手段と、前記字句データあるいは图形またはロゴマークを表示用部品として表示用の画像データに変換し、表示用部品ファイルに格納する手段と、文書を校正するとき、前記表示用部品ファイルから前記字句データあるいは图形またはロゴマークの表示用部品を取得して本文データと印刷体裁の表示用文書に編集し、あるいは文書を印刷するとき、前記印刷用部品ファイルから前記字句データあるいは图形またはロゴマークの印刷用部品を取得して本文データと印刷用文書に編集する編集手段と、前記編集手段に本文データあるいは編集指示を入力する入力手段と、前記表示用文書あるいは印刷用文書を格納する外部記憶手段と、を備えることを特徴とする文書作成機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、文書作成機に関し、特に字句データ、图形あるいはロゴマークを印刷用部品、あるいは表示用部品として格納する部品ファイルを備える文書作成機に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 一般に文書作成機は文書作成、または文書管理、あるいは文書保存を行うために使用されている。また近年では印刷体裁の文書をそのままディスプレイ上に表示させるWYSIWYG(ウィシウイグ)機能を備えた文書作成機も実用されている。更にまた一般に公式文書は文書形式を統一する傾向があり、定形字句や決った图形や会社ロゴを頻繁に使用することがある。このため、文書作成機で文書を作成する場合、图形が必要になると文書作成機の修正機能や編集機能を駆使して、作成された文書に图形を貼り付けることがある。この修正、編集作業は貢毎に行われ、多くの手間と時間を要する作業である。

【0003】 従来、文書作成機にはいわゆる差し込み機能や切り貼り機能等があるが、いずれも行や頁単位に限られていて、作成済みの文書の一部分を文書部品として扱う機能は備えていない。

【0004】 このため、利用者から本文データと部品を編集し、効率良く文書の作成、印刷できる文書作成機の開発を望まれている。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】 従来の技術において、効率良く文書を作成する為には、できるだけ既成文書を再利用し、できるだけ少ない校正作業で、新規文書を作成する手法がある。

【0006】しかし、この手法では差し込み機能や切り貼り機能、あるいは複写や移動といった校正機能を駆使して文書を作成しなくてはならず、作業に手間がかかる上、完全な頁体裁を一頁づつ作り上げなければならな

い。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】 この発明の目的は、頻繁に用いられる字句データ、图形あるいはロゴマークを印刷用部品と表示用部品としてあらかじめ記憶装置に格納しておくことにより、貢の体裁を容易、かつ迅速に表示装置で確認しながら編集し、文書を作成することができる文書作成機を提供することにある。

## 【0008】 この発明の字句データあるいは图形またはロゴマークを印刷用部品として印刷用部品ファイルに格納する手段と、前記字句データあるいは图形またはロゴマークを表示用部品として表示用の画像データに変換し、表示用部品ファイルに格納する手段と、文書を校正するとき、前記表示用部品ファイルから前記字句データあるいは图形またはロゴマークの表示用部品を取得して本文データと印刷体裁の表示用文書に編集し、あるいは文書を印刷するとき、前記印刷用部品ファイルから前記字句データあるいは图形またはロゴマークの印刷用部品を取得して本文データと印刷用文書に編集する編集手段と、前記編集手段に本文データあるいは編集指示を入力する入力手段と、前記表示用文書あるいは印刷用文書を格納する外部記憶手段と、を備える。

【0009】

【実施例】 この発明の詳細を図面によって説明する。

【0010】 この発明の一実施例の構成を示すブロック図1を参照すると、文書作成機1は、文書の印刷用部品を格納する印刷用部品データ2と、印刷用部品データ2を入力する部品入力部3と、入力された印刷用部品データ2を画像データに変換するDPI変換部4と、文書作成機を制御する制御部5と、印刷用部品ファイル61と表示用部品ファイル62を格納する部品記憶部6と、本文データあるいは編集指示を入力する入力部7と、文書を校正するため文書表示する表示部8と、文書を校正する表示用文書あるいは印刷する印刷用文書を編集する編集部9と、表示用文書あるいは印刷用文書を格納する外部記憶部10と、文書を印刷する印刷部11と、を備える。なお、部品入力部3は、印刷用部品データ2を印刷用部品ファイル61に格納し、DPI変換部4は印刷用部品データをピットマップディスプレイ表示用に画像のドット密度を小さくして変換する。つまりピットデータを間引き表示用部品として表示用部品ファイル62に格納する。

【0011】 更に、図2(a)は表示用部品を格納する表示用部品ファイルのディレクトリとファイルを示し、表示用部品管理ファイル21は現在格納されている表示用部品ファイル名、サイズ等の情報を格納するディレクトリである。

【0012】 また更に、図2(b)は印刷用部品を格納する印刷用部品ファイルのディレクトリとファイルを示し、印刷用部品管理ファイル22は現在格納されている

印刷用部品ファイル名、サイズ等の情報を格納するディレクトリである。

【0013】次に、この実施例の動作を説明する。

【0014】図3(a)は文書の頁体裁のイメージを例示し、図3(b)はレイアウト体裁を例示する。この文書を作成する場合、印刷用部品データ2を印刷用部品データファイル61と、表示用部品データファイル62にそれぞれ格納し、それぞれのファイル名、サイズ等の情報を各々の管理ファイル21および22に格納されている。一般に、地図や会社ロゴなどの図形はイメージデータであり、印刷用のデータのドット密度を間引くことによって、表示用部品として使用できる。この表示用部品の作成と表示用部品管理ファイル21の作成をDPI変換部4が行う。

【0015】実際に図3(b)に示す領域A34に部品A35を貼り付ける場合、編集部5は表示用部品管理ファイル21から部品Aの詳細な情報を取得し、表示用部品Aを表示用部品ファイル62から読み込む。領域B36に部品B37を貼り付ける場合も同様に、編集部9は表示用部品管理ファイル21から部品Bの詳細な情報を入手し、表示用部品B37を表示用部品ファイルから読み込む。編集部9は、編集済みの頁全体のデータを表示部8に渡し表示させる。

【0016】次に、表示部で編集した文書を印刷する場合を説明する。

【0017】編集部9は印刷用部品管理ファイル22から部品Aの詳細な情報を入手し、印刷用部品A35を印刷用部品ファイル61から読み込む。編集部9は、更に印刷用部品管理ファイル22から部品B37を印刷用部品ファイルから読み込む。編集部9は頁全体のデータを印刷部11に渡し、印刷を行う。

【0018】上述した実施例で、表示用部品と印刷用部品をあらかじめ記憶装置に用意しておくことにより、よ\*

\*り迅速な文書体裁の編集、確認、印刷ができる。

【0019】

【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば、頻繁に用いられる字句データ、図形、ロゴマークを印刷用部品と、ピットマップディスプレイ表示用にドット密度を小さくして変換した表示用部品とをそれぞれファイルに储えることによって、頁体裁を容易にかつ迅速に画面表示し、またそれを迅速に印刷することができる。

【0020】更に、この発明によればWYSIWYG可能を実現し、文書の再利用が可能となり、文書作成の省力化を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施例の構成を示すブロック図である。

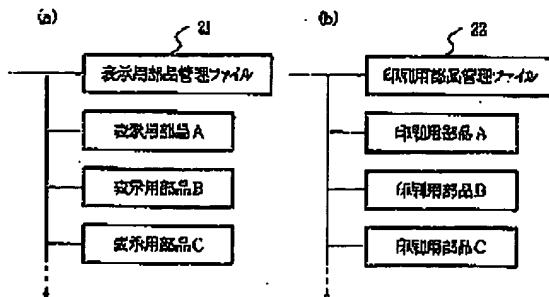
【図2】子図(a)、(b)は、それぞれ表示用部品のディレクトリと格納形式、印刷用部品のディレクトリと格納形式を例示する図である。

【図3】子図(a)、(b)は、それぞれ実施例の頁体裁イメージを例示する図である。

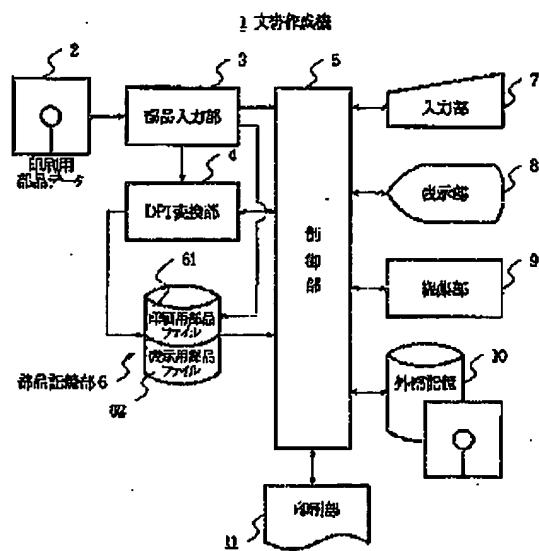
【符号の説明】

- 1 文書作成機
- 2 印刷用部品データ
- 3 部品入力部
- 4 DPI変換部
- 5 制御部
- 6 部品記憶部
- 7 入力部
- 8 表示部
- 9 編集部
- 10 外部記憶部
- 11 印刷部
- 61 印刷用部品ファイル
- 62 表示用部品ファイル

【図2】



【図1】



【図3】

